

『“マリアッチ・アガベ” がマツダスタジアムで大活躍』

9月10日（火）から12日（木）まで今年も“マリアッチ・アガベ”を広島に招聘いたしました。今回で3年連続3回目の来広となりました。

台風の影響でメキシコ出発が遅れ、9月10日朝、成田に到着して、そのまま広島へ移動となり、リハーサルも十分にはできませんでしたが、マツダスタジアムでの広島東洋カープ 対 中日ドラゴンズ戦において、プレーボール前の外野芝生上での「シェリト・リンド」の演奏と、昨年に続いてメンバーのアルマンドさんによる「君が代」斉唱は、観客からの大喝采を浴び、メキシコ選手団受け入れの機運醸成に、大いに貢献しました。



マツダスタジアム外野芝生上で「シェリト・リンド」を演奏する“マリアッチ・アガベ”



「君が代」を斉唱するアルベルトさん（中央）



始球式で投球する坂本直子さん

そして、始球式では、福山市のメキシコ合宿応援サポーターを務める女子マラソンの坂本直子さんが登場し、そのパフォーマンスはスタジアムを大いに盛り上げました。

その後、“マリアッチ・アガベ”はパーティールームやテラスなど12箇所で演奏をして廻り、それぞれに歓迎を受け、ゲームの盛り上げ、カーブの応援に一役買っていました。

翌日は、13時過ぎにRCC中国放送のラジオ番組「おひる一な」に出演、東京オリンピック、パラリンピックに向けた広島でのメキシコ選手団の事前合宿受け入れをアピールすることができました。

17時には、メキシコ独立記念式典、19時には、当親善協会会員交流会「“マリアッチ・アガベ”の演奏と食事を楽しむ会」に出演し、翌日名古屋へと向かいました。



パーティフロアを盛り上げる“マリアッチ・アガベ”のメンバー達